

泉大津沖埋立処分場等に係る 環境監視調査結果報告書

(令和6年6月分)

大阪湾広域臨海環境整備センター

目次

I 泉大津沖埋立処分場	1
1 環境監視結果の概要	1
1.1 処分場の受入量(表1-1)	1
環境監視調査地点位置図(図1)	2
1.2 環境監視の実施状況	3
1.3 環境監視の結果	3
[1] 海域調査	3
(1) 水質	3
①日調査	3
②週調査	3
③月調査	4
[2] 陸域調査	5
(1) 悪臭	5
海域調査結果	
放流水の測定結果[日調査](表1-2)	6
放流水、内水の測定結果[週調査](表1-3)	8
基本監視点、放流水及び補助監視点の測定結果[月調査](表1-4)	9
一般項目及び生活環境項目	9
陸域調査結果	
悪臭調査結果(表1-5)	10

II	大阪基地	11
1	環境監視結果の概要	11
1.1	環境監視の実施状況	11
1.2	環境監視の結果	11
	大阪基地及び環境監視調査地点位置図(図2)	12
	悪臭調査結果(表2)	11
III	堺基地	13
1	環境監視結果の概要	13
1.1	環境監視の実施状況	13
1.2	環境監視の結果	13
	堺基地及び環境監視調査地点位置図(図3)	14
	悪臭調査結果(表3)	13

I 泉大津沖埋立処分場

1 環境監視結果の概要

1.1 処分場の受入量

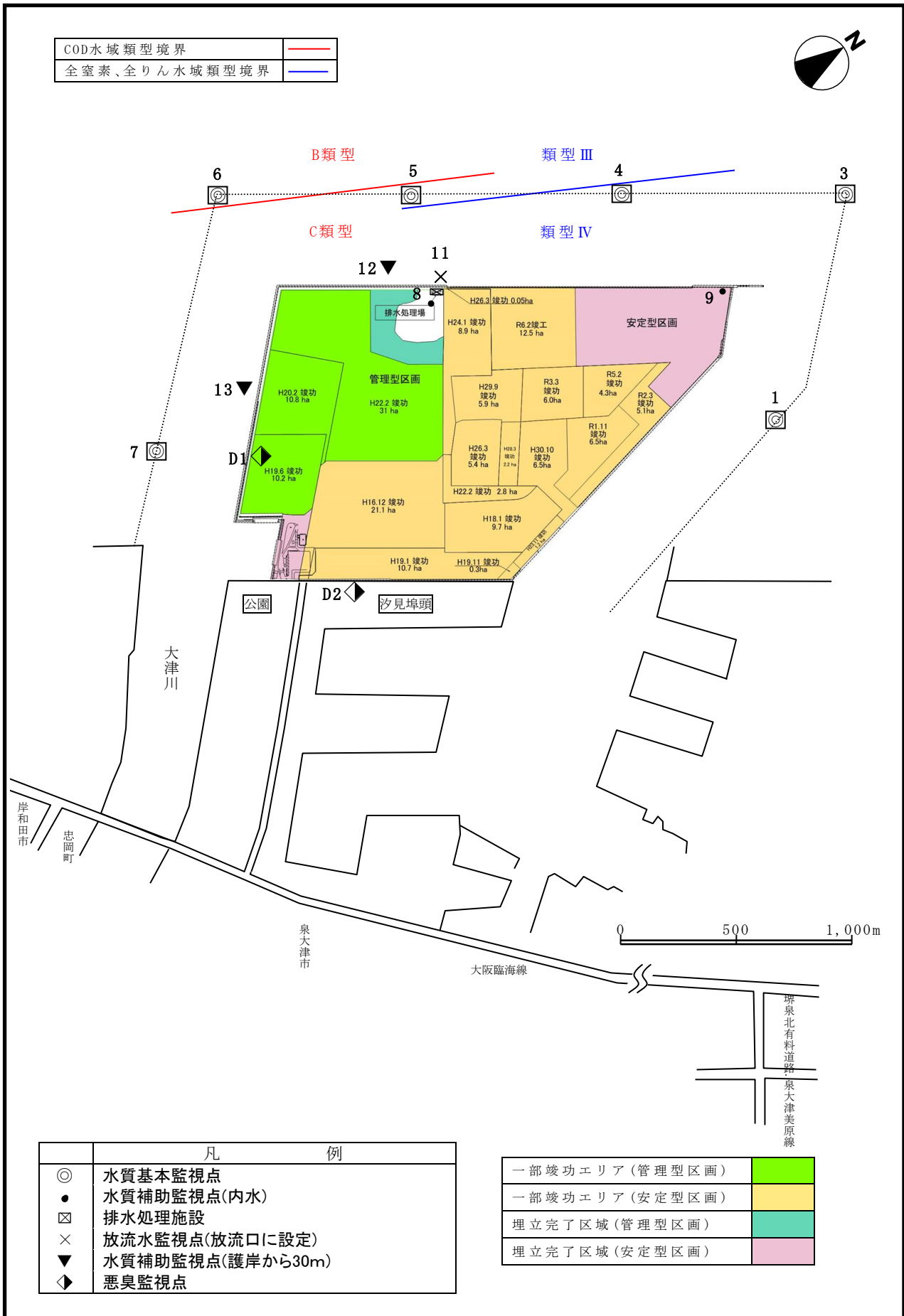
令和6年6月の大阪基地等4基地での廃棄物等の受入状況は表1-1に示すとおりである。泉大津沖埋立処分場では、泉大津基地に搬入の陸上残土281.8t、直接投入の陸上残土22,543.0t(残土15,833.0t、購入残土6,710.0t)の合計22,824.8tの受入れを行った。

表1-1 廃棄物等の受入状況(令和6年6月分)

(単位:t)

廃棄物の種類	大阪基地	堺基地	和歌山基地	泉大津基地	泉大津沖埋立処分場			
					直接投入	埋立処分量		
一般廃棄物	可燃ごみ(焼却灰)	6,857.4	6,846.4	1,123.1	—	—		
	ばいじん処理物	1,565.5	4,479.8	381.5	—	—		
	不燃・粗大ごみ	127.1	266.3	49.6	—	—		
	し尿処理汚泥	—	6.3	9.2	—	—		
	溶融処理物	—	—	—	—	—		
合計	8,550.0	11,598.8	1,563.4	—	—			
産業廃棄物	上下水汚泥	上水汚泥	78.4	227.9	921.3	—	—	
		下水汚泥	419.3	1,359.7	50.4	—	—	
		合計	497.7	1,587.6	971.7	—	—	
	民間産業廃棄物	産管埋	燃え殻	80.1	111.3	17.4	—	—
			汚泥	1,000.9	5,060.7	16.3	—	—
			鉱さい	698.6	274.1	3,256.6	—	—
			ばいじん	199.7	56.0	486.1	—	—
			その他の廃棄物	121.8	3.0	—	—	—
		廃型	廃プラスチック	133.0	—	—	—	—
			ゴムくず	—	—	—	—	—
			金属くず	3.1	—	3.8	—	—
			ガラス陶磁器くず	410.1	—	157.0	—	—
			がれき類	2,156.6	—	1,485.9	—	—
	小計	4,803.9	5,505.1	5,423.1	—	—		
	産安定廃棄物	産安定	廃プラスチック	—	—	—	—	—
ゴムくず			—	—	—	—	—	
廃型		金属くず	—	—	—	—	—	
		ガラス陶磁器くず	—	—	—	—	—	
		がれき類	—	—	—	—	—	
小計	—	—	—	—	—			
合計	4,803.9	5,505.1	5,423.1	—	—			
合計	5,301.6	7,092.7	6,394.8	—	—			
陸上残土	安定型	残土	—	—	—	281.8	15,833.0	
		購入残土	—	—	—	—	6,710.0	
		小計	—	—	—	281.8	22,543.0	
	管理型	残土	2,695.5	33.7	—	—	—	
管理型	購入残土	—	—	—	—	—		
管理型	小計	2,695.5	33.7	—	—	—		
浚渫土砂	安定型	浚渫土砂	—	—	—	—	—	
		無料浚渫土	—	—	—	—	—	
		小計	—	—	—	—	—	
	管理型	浚渫土砂	—	—	—	—	—	
無料浚渫土		—	—	—	—	—		
管理型	小計	—	—	—	—	—		
合計	16,547.1	18,725.2	7,958.2	281.8	22,543.0	22,824.8		

(埋立量内訳) 振替量(安定型⇒管理型) : — 管理型 : —
安定型 : 22,824.8



注) 残土のみの受入であり、ポンド部の投入はなく、覆土の作業のみを行った。

図1 環境監視調査地点位置図(令和6年6月)

1.2 環境監視の実施状況

泉大津沖埋立処分場及び泉大津基地における環境監視計画に基づく調査地点は図1、令和6年6月の環境監視の実施状況は次表のとおりである。

環境項目	測定・調査項目	測定地点	測定点数	頻度	実施日
水質	濁度、水温、COD、DO (溶存酸素量)、pH	管理型排水処理施設放流水 (St. 11)	1地点 (放流水)	連続測定	6/1～6/30 ^{注2}
	SS(浮遊物質量)			週1回	6/4, 12, 18, 25
	COD、pH、全窒素			月1回	6/12
	透明度、水温、SS、 COD、DO、pH	補助監視点 (St. 8, 9 ^{注1})	2地点 (内水)	週1回	6/4, 12, 18, 25
	濁度、透明度、水温、 SS、クロロフィルa、FSS(揮 発性浮遊物質量)、 塩分、COD、DO、pH	基本監視点 (St. 1, 3～7) 補助監視点 (St. 12, 13)	8地点 (海域)	月1回	6/12
悪臭	臭気濃度、臭気指数、 臭気強度	D1、D2	2地点 (風上、風下)	年2回	6/4

注1) St. 9は令和3年度より欠測とする。

注2) 6月24日(月)は、循環運転(放流停止)中であったため未放流。

1.3 環境監視の結果

[1] 海域調査

(1) 水質

水質の調査結果を表1-2～表1-4に示す。

① 日調査

放流水(表1-2)

[管理型排水処理施設放流水(St. 11)]

濁度は<1～43度(カリン)、CODは17～24mg/L(管理基準値60mg/L)、pHは7.3～8.2(管理基準値5.0以上9.0以下)であり、特に問題のない結果であった。

② 週調査

内水(表1-3)

[管理型区画内水(St. 8)]

SSは2～5mg/L、CODは18～43mg/Lであった。

[安定型区画内水(St. 9)]

令和3年度より欠測とする。

放流水（表 1 - 3）

[管理型排水処理施設放流水(St. 11)]

放流水のSSは 2~4mg/L（管理基準値50mg/L）であり、特に問題のない結果であった。

③月調査

海 域（表 1 - 4）

[基本監視点(St. 1, 3~7)]

（表層）

濁度は <1~1度(カリン)（目安値 11度(カリン)）、FSSは全監視点 <1mg/L（監視基準値 5 mg/L）、CODは 3.6~4.3mg/L、DOは 9.2~10mg/L、pHは 8.4~8.5であり、COD及びpH以外は特に問題のない結果であった。

なお、CODについては、監視点St. 6（3.7mg/L）で環境基準（B類型；3mg/L以下）を上回っていた。事業実施前の当海域における水質調査の結果は上層で1.7~12mg/Lであり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

また、pHについては、監視点St. 1, 3~7（8.4~8.5）で環境基準（B類型；7.8~8.3、C類型；7.0~8.3）を上回っていた。事業実施前の当海域における水質調査の結果は上層で7.9~8.8であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

（底層）

濁度は 1~2度（カリン）（目安値 9度（カリン））、FSSは <1~1mg/L（監視基準値 7mg/L）、CODは 1.8~2.1mg/L、DOは 3.1~6.2mg/L、pHは 7.8~8.0であり、DO以外は特に問題のない結果であった。

なお、DOについては、監視点St. 6（4.7mg/L）で環境基準（B類型；5mg/L以上）を下回っていた。事業実施前の当海域における水質調査の結果は下層で<0.5~9.6mg/Lであり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

（参考）環境基準

St. 1, 3, 4, 5, 7：C類型（COD 8 mg/L以下、DO 2 mg/L以上、pH 7.0~8.3）

St. 6：B類型（COD 3 mg/L以下、DO 5 mg/L以上、pH 7.8~8.3）

[補助監視点(St. 12, 13)]

（表層）

CODは 3.8及び3.7mg/L、DOは 9.6及び10mg/L、pHは両監視点ともに 8.4で、pH以外はC類型環境基準を満足していた。

なお、pHについては、監視点St. 12, 13（8.4）で環境基準（C類型；7.0~8.3）を上回っていた。事業実施前の当海域における水質調査の結果は上層で7.9~8.8であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

(底層)

CODは 2.2及び2.1mg/L、D0は 4.1及び3.8mg/L、pHは両監視点ともに 7.8で、C類型環境基準を満足していた。

(参考) 環境基準

St. 12, 13 : C 類型 (COD 8 mg/L 以下、D0 2 mg/L 以上、pH 7.0~8.3)

放流水 (表 1 - 4)

[管理型排水処理施設放流水(St. 11)]

CODは 20mg/L (管理基準値60mg/L)、pHは 7.9 (管理基準値5.0以上9.0以下)、全窒素は 22mg/L (管理基準値60mg/L)であり、特に問題のない結果であった。

[2] 陸域調査

(1) 悪臭

悪臭の調査結果を表 1 - 5 に示す。

臭気濃度、臭気指数は2地点ともに <10であった。また臭気強度は2地点ともに 0 で、臭質はいずれも無臭であった。

海域調査結果

表 1 - 2 放流水の測定結果〔日調査〕（令和6年6月）

測定日 (曜日)	濁度 (度(カオリン)) MIN.~MAX.	水温 (°C) MIN.~MAX.	COD (mg/L) MIN.~MAX.	DO (mg/L) MIN.~MAX.	pH (-) MIN.~MAX.
1(土)	2 ~ 3 (2)	21.8 ~ 22.8 (22.4)	17 ~ 18 (18)	5.4 ~ 6.0 (5.7)	7.8 ~ 7.8 (-)
2(日)	2 ~ 2 (2)	22.7 ~ 23.7 (23.2)	17 ~ 18 (18)	5.3 ~ 5.8 (5.5)	7.8 ~ 7.8 (-)
3(月)	1 ~ 2 (2)	21.0 ~ 24.0 (23.4)	17 ~ 18 (18)	4.7 ~ 7.0 (5.9)	7.8 ~ 7.8 (-)
4(火)	<1 ~ 2 (1)	22.9 ~ 24.0 (23.4)	17 ~ 18 (18)	5.1 ~ 6.5 (6.1)	7.8 ~ 7.8 (-)
5(水)	<1 ~ 1 (<1)	21.7 ~ 23.7 (23.2)	17 ~ 19 (18)	5.2 ~ 6.8 (5.8)	7.8 ~ 7.8 (-)
6(木)	<1 ~ 1 (<1)	23.2 ~ 24.0 (23.5)	17 ~ 18 (18)	5.9 ~ 6.2 (6.0)	7.7 ~ 7.7 (-)
7(金)	<1 ~ <1 (<1)	23.0 ~ 24.4 (23.9)	17 ~ 18 (18)	5.5 ~ 7.0 (6.0)	7.7 ~ 7.7 (-)
8(土)	<1 ~ 1 (<1)	24.0 ~ 25.1 (24.5)	17 ~ 18 (18)	5.5 ~ 6.0 (5.7)	7.6 ~ 7.6 (-)
9(日)	1 ~ 3 (2)	23.3 ~ 24.3 (23.9)	18 ~ 18 (18)	5.2 ~ 5.5 (5.3)	7.6 ~ 7.6 (-)
10(月)	2 ~ 4 (3)	21.7 ~ 23.8 (23.2)	18 ~ 19 (18)	4.8 ~ 6.4 (5.2)	7.6 ~ 7.6 (-)
11(火)	4 ~ 5 (4)	22.8 ~ 24.1 (23.5)	18 ~ 19 (19)	4.4 ~ 5.3 (4.9)	7.6 ~ 7.6 (-)
12(水)	4 ~ 5 (4)	23.6 ~ 24.8 (24.2)	18 ~ 19 (19)	3.8 ~ 6.7 (4.3)	7.7 ~ 7.7 (-)
13(木)	4 ~ 5 (4)	24.3 ~ 25.3 (24.7)	18 ~ 20 (19)	3.5 ~ 4.4 (3.9)	7.4 ~ 7.6 (-)
14(金)	4 ~ 5 (4)	24.4 ~ 25.7 (25.1)	18 ~ 19 (19)	2.2 ~ 4.4 (3.3)	7.3 ~ 7.4 (-)
15(土)	4 ~ 5 (4)	25.0 ~ 25.8 (25.3)	19 ~ 19 (19)	1.7 ~ 2.7 (2.2)	7.5 ~ 7.5 (-)
16(日)	4 ~ 5 (4)	24.8 ~ 25.8 (25.2)	19 ~ 20 (19)	1.0 ~ 2.1 (1.6)	7.5 ~ 7.5 (-)

測定日 (曜日)	濁度 (度(カオリン)) MIN.~MAX.	水温 (°C) MIN.~MAX.	COD (mg/L) MIN.~MAX.	DO (mg/L) MIN.~MAX.	pH (-) MIN.~MAX.
17(月)	4 ~ 7 (5)	24.6 ~ 25.5 (25.1)	19 ~ 20 (19)	0.1 ~ 1.9 (0.9)	7.6 ~ 7.6 (-)
18(火)	5 ~ 6 (6)	23.0 ~ 24.6 (23.8)	19 ~ 20 (20)	0.2 ~ 1.1 (0.6)	7.7 ~ 7.7 (-)
19(水)	5 ~ 10 (6)	22.6 ~ 24.6 (23.1)	19 ~ 21 (20)	0.0 ~ 3.0 (1.4)	7.7 ~ 7.8 (-)
20(木)	6 ~ 9 (7)	22.8 ~ 23.5 (23.1)	20 ~ 22 (21)	0.2 ~ 2.7 (1.4)	7.9 ~ 8.0 (-)
21(金)	7 ~ 20 (13)	22.3 ~ 23.2 (22.8)	21 ~ 22 (21)	0.0 ~ 1.1 (0.2)	8.1 ~ 8.1 (-)
22(土)	18 ~ 34 (27)	22.3 ~ 23.1 (22.6)	21 ~ 23 (22)	0.0 ~ 0.0 (0.0)	8.1 ~ 8.2 (-)
23(日)	34 ~ 43 (39)	22.4 ~ 23.0 (22.7)	23 ~ 24 (24)	0.0 ~ 0.0 (0.0)	8.2 ~ 8.2 (-)
24(月)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (-)
25(火)	16 ~ 43 (41)	22.4 ~ 22.9 (22.6)	21 ~ 24 (22)	0.0 ~ 3.7 (0.5)	7.9 ~ 8.1 (-)
26(水)	1 ~ 16 (8)	22.5 ~ 24.0 (22.8)	24 ~ 24 (24)	0.0 ~ 0.0 (0.0)	8.2 ~ 8.2 (-)
27(木)	<1 ~ 19 (4)	22.7 ~ 22.9 (22.8)	22 ~ 24 (23)	0.0 ~ 1.6 (0.7)	8.1 ~ 8.2 (-)
28(金)	4 ~ 11 (6)	22.5 ~ 23.3 (22.6)	21 ~ 23 (22)	0.1 ~ 2.5 (1.2)	8.1 ~ 8.1 (-)
29(土)	10 ~ 17 (13)	22.4 ~ 23.4 (22.9)	21 ~ 23 (22)	0.0 ~ 1.8 (0.6)	8.1 ~ 8.1 (-)
30(日)	8 ~ 32 (21)	22.8 ~ 24.1 (23.4)	22 ~ 24 (23)	0.0 ~ 0.0 (0.0)	8.2 ~ 8.2 (-)
	~ ()	~ ()	~ ()	~ ()	~ (-)
6 月 集計結果	<1 ~ 43 (8)	21.0 ~ 25.8 (23.5)	17 ~ 24 (20)	0.0 ~ 7.0 (2.9)	7.3 ~ 8.2 (-)

注：()内は平均値を示す。

注：※項目は、循環運転(放流停止)中であつたため欠測とした。

表 1 - 3 放流水、内水の測定結果 [週調査] (令和6年6月)

調査日	調査地点(St.)		透明度 (m)	水温 (°C)	SS (mg/L)	CODMn (mg/L)	DO (mg/L)	pH (-)	T-N (mg/L)
6月4日 (火)	8		1.5	23.2	2	18	4.7	8.0	13
	11		-	23.8	2	-	-	-	22
6月12日 (水)	8		1.3	23.7	3	29	<0.5	8.0	23
	11		-	24.4	3	20	-	7.9	22
6月18日 (火)	8		1.3	22.8	3	26	<0.5	7.9	23
	11		-	23.4	3	-	-	-	25
6月25日 (火)	8		1.6	22.0	5	43	<0.5	8.2	30
	11		-	23.3	4	-	-	-	31
	8		-	-	-	-	-	-	-
	11		-	-	-	-	-	-	-
集 計 結 果	調査地点(St.)		透明度 (m)	水温 (°C)	SS (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	pH (-)	T-N (mg/L)
	8 [管理型内水]	最大値	1.6	23.7	5	43	4.7	8.2	30
		最小値	1.3	22.0	2	18	<0.5	7.9	13
		平均値	1.4	22.9	3	29	1.6	-	22
	11 [放流水]	最大値	-	24.4	4	20	-	7.9	31
		最小値	-	23.3	2	-	-	-	22
平均値		-	23.7	3	-	-	-	25	

表 1 - 4 基本監視点、放流水及び補助監視点の測定結果 [月調査]
 (一般項目及び生活環境項目) (令和6年6月)

調査年月日: 令和6年6月12日

項目	監視区分 地点番号	基本監視点							最小値 ~ 最大値	平均値	放流水	補助監視点	
		1	3	4	5	6	7	11			12	13	
調査時刻	-	8:58	8:40	8:34	8:27	8:20	8:12	- ~ -	-	-	9:52	7:52	8:02
濁度 (度(カリン))	表層	1	<1	1	<1	1	1	<1 ~ 1	1	-	1	1	
	底層	1	1	1	1	1	2	1 ~ 2	1	-	1	2	
透明度 (m)	-	2.9	3.2	3.0	3.0	2.9	2.6	2.6 ~ 3.2	2.9	-	2.6	3.0	
水温 (°C)	表層	22.8	21.7	21.9	21.6	22.6	22.8	21.6 ~ 22.8	22.2	24.4	22.6	22.3	
	底層	17.6	17.6	17.7	17.6	17.6	17.4	17.4 ~ 17.7	17.6		17.6	17.5	
SS (mg/L)	表層	3	2	3	2	3	3	2 ~ 3	3	3	3	3	
	底層	3	1	1	1	1	1	1 ~ 3	1		2	4	
クロロフィルa (µg/L)	表層	6	4	6	4	6	8	4 ~ 8	6	-	6	11	
	底層	-	-	-	-	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
FSS (mg/L)	表層	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1 ~ <1	<1	-	<1	<1	
	底層	1	<1	<1	<1	<1	<1	<1 ~ 1	1	-	<1	1	
塩分 (‰)	表層	27.4	28.2	28.2	28.1	27.5	27.7	27.4 ~ 28.2	27.9	-	27.3	27.9	
	底層	32.2	32.3	32.3	32.3	32.3	32.2	32.2 ~ 32.3	32.3	-	32.1	32.2	
COD (mg/L)	表層	3.6	4.0	4.3	3.7	3.7	3.9	3.6 ~ 4.3	3.9	20	3.8	3.7	
	底層	2.1	1.9	1.9	1.8	1.8	1.8	1.8 ~ 2.1	1.9		2.2	2.1	
DO (mg/L)	表層	10	9.3	9.2	9.4	10	10	9.2 ~ 10	9.7	-	9.6	10	
	底層	3.6	5.4	6.2	5.3	4.7	3.1	3.1 ~ 6.2	4.7		4.1	3.8	
pH (-)	表層	8.5	8.4	8.4	8.4	8.4	8.4	8.4 ~ 8.5	-	7.9	8.4	8.4	
	底層	7.8	8.0	8.0	8.0	7.9	7.8	7.8 ~ 8.0	-		7.8	7.8	
全窒素(mg/L)		-	-	-	-	-	-	- ~ -	-	22	-	-	

注) 採水層は、表層は海面下1m、底層は海底上2mである。

表 1 - 5 悪臭調査結果

(泉大津基地)

測定日：令和6年6月4日

測定点		D 1 (風上)	D 2 (風下)
測定時間		11:40	12:00
気象	天候 (当日/前日)	晴/晴	晴/晴
	気温	21.7℃	25.8℃
	湿度	63%	49%
	風向	西	西
	風速	1.2m/s	1.1m/s
官能試験	臭気濃度	<10	<10
	臭気指数	<10	<10
	臭気強度	0	0
	臭質	無臭	無臭

(注) 臭気濃度：人の嗅覚でその臭気を感じできなくなった時点の希釈倍数

臭気指数：臭気指数=10×log(臭気濃度)

官能試験時に求められた臭気強度である。

臭気強度：0(無臭)～5(強烈な臭い)の6段階に区分

II 大阪基地

1 環境監視結果の概要

1.1 環境監視の実施状況

環境監視計画に基づく令和6年6月の環境監視の実施状況は次表のとおりである。

なお、調査地点位置については図2に示す。

環境項目	測定・調査項目	測定地点	測定点数	頻度	実施日
悪臭	臭気濃度、臭気指数、臭気強度	No. 5, 6	2地点 (風上、風下)	年2回	6/4

1.2 環境監視の結果

悪臭の調査結果を表2に示す。

臭気濃度、臭気指数は2地点ともに<10であった。また臭気強度は2地点ともに0で、臭質はいずれも無臭であった。

表2 悪臭調査結果

(大阪基地)

測定日：令和6年6月4日

測定点		No. 5 (風下)	No. 6 (風上)
測定時間		9:30	9:45
気象	天候(当日/前日)	晴/晴	晴/晴
	気温	22.3℃	22.0℃
	湿度	67%	49%
	風向	北東	北東
	風速	1.3m/s	3.2m/s
官能試験	臭気濃度	<10	<10
	臭気指数	<10	<10
	臭気強度	0	0
	臭質	無臭	無臭

(注) 臭気濃度：人の嗅覚でその臭気を感じできなくなった時点の希釈倍数

臭気指数：臭気指数=10×log(臭気濃度)

官能試験時に求められた臭気強度である。

臭気強度：0(無臭)～5(強烈な臭い)の6段階に区分

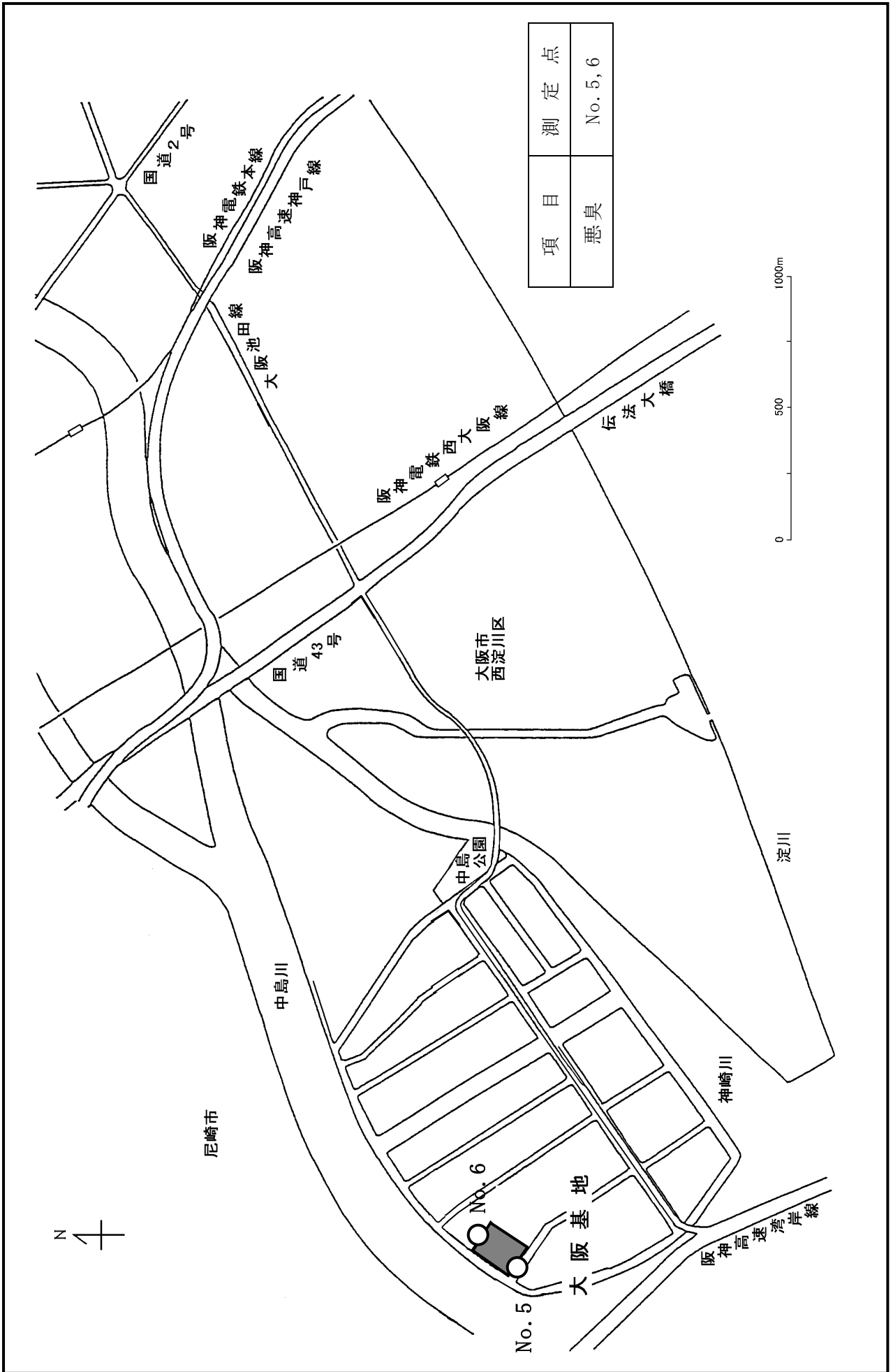


図2 環境監視調査地点位置図(大阪基地)

Ⅲ 堺基地

1 環境監視結果の概要

1.1 環境監視の実施状況

環境監視計画に基づく令和6年6月の環境監視の実施状況は次表のとおりである。

なお、調査地点位置については図3に示す。

環境項目	測定・調査項目	測定地点	測定点数	頻度	実施日
悪臭	臭気濃度、臭気指数、臭気強度	No. 5, 6	2地点 (風上、風下)	年2回	6/4

1.2 環境監視の結果

悪臭の調査結果を表3に示す。

臭気濃度、臭気指数は2地点ともに<10であった。また臭気強度は2地点ともに0で、臭質はいずれも無臭であった。

表3 悪臭調査結果

(堺基地)

測定日：令和6年6月4日

測定点		No. 5 (風下)	No. 6 (風上)
測定時間		11:00	10:45
気象	天候(当日/前日)	晴/晴	晴/晴
	気温	20.3℃	20.9℃
	湿度	67%	72%
	風向	北西	西北西
	風速	0.7m/s	0.4m/s
官能試験	臭気濃度	<10	<10
	臭気指数	<10	<10
	臭気強度	0	0
	臭質	無臭	無臭

(注) 臭気濃度：人の嗅覚でその臭気を感じできなくなった時点の希釈倍数

臭気指数：臭気指数=10×log(臭気濃度)

官能試験時に求められた臭気強度である。

臭気強度：0(無臭)～5(強烈な臭い)の6段階に区分

項 目	測 定 点
悪 臭	No. 5, 6

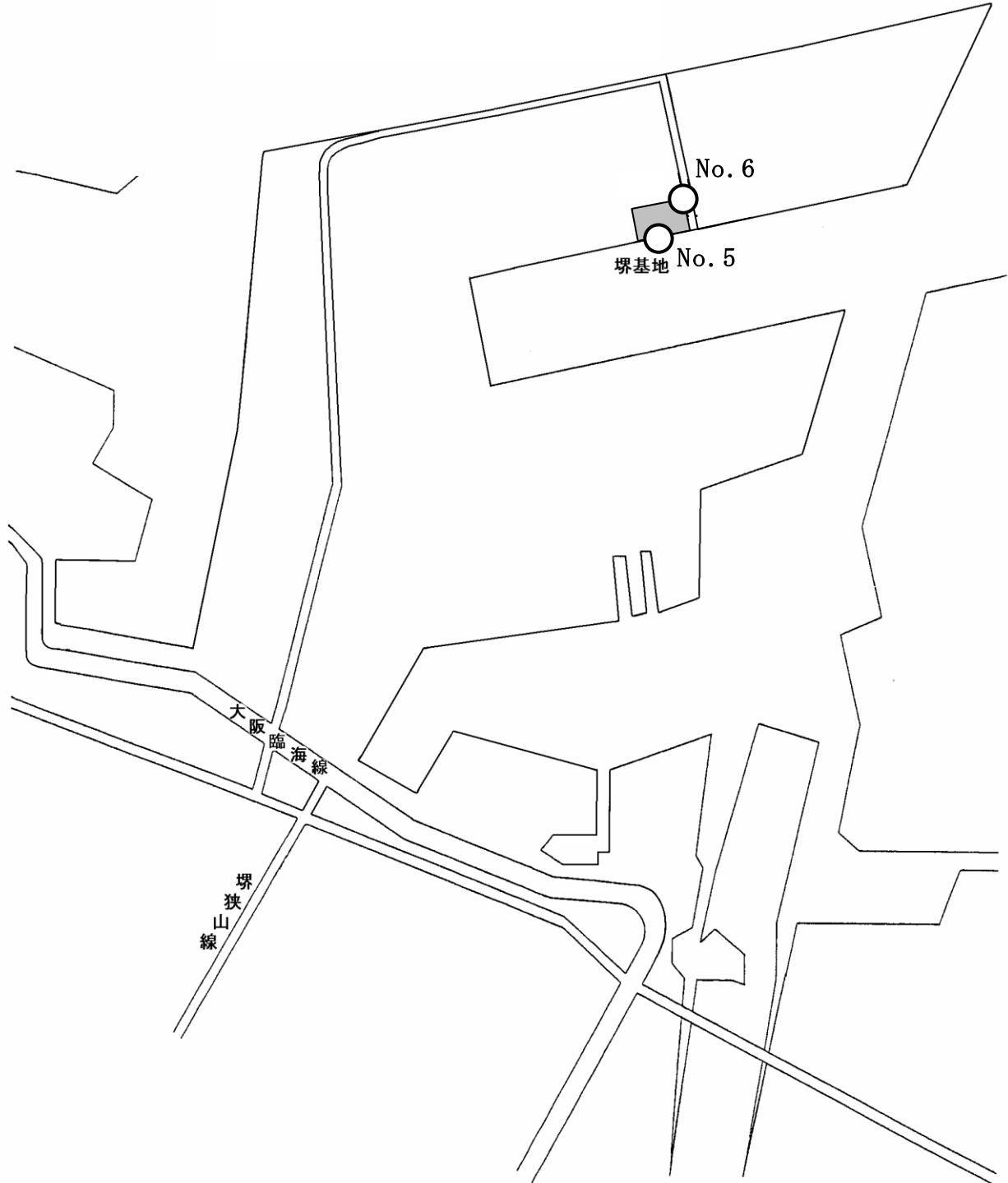
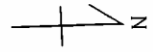


図3 環境監視調査地点位置図（塚基地）